



TOKYO

# 新 運 転

JTUC DRIVERS CRAFT UNION

発行人  
新産別運転者労働組合  
(略称・新運転)  
編集兼発行人 太田 武二  
〒110-0003  
東京都台東区根岸3-25-6  
TEL 03-5603-1015  
FAX 03-5603-5351  
mail: sinunten@sinunten.or.jp



逆富士 本栖湖



謹賀新年  
二〇一八年元旦  
新運転



中央執行委員長  
埼玉地本執行委員長  
折井洋之

新年明けましておめでとうご  
ざいます。新運転に集う組合員  
とご家族の皆様にはよいお年を  
迎えられたこととお喜び申し上  
げます。

昨年、米国の第45代アメリ  
カ合衆国大統領にドナルド・  
トランプ氏が就任したサブライ  
ズが、世界中で起こった多くの  
人権侵害や貧困とテロの連鎖  
などが相まって世界終末時計が  
2年ぶりに進み、1953年以  
来となる残り2分30秒まで迫っ  
た。とりわけ北朝鮮による核や  
ミサイル実験を強行する金正恩  
最高指導者とトランプ大統領の  
チキンレースのような非難の応  
酬は、文字通り第二次朝鮮戦争  
の危機目前を思わせる様相を呈  
した。その危機の中で、韓国の  
大統領選挙で民主党の文在寅候  
補が大差で勝利、朝鮮半島での  
戦争を絶対許さない政治戦略に  
立つて南北対話を進め、今回の  
平昌(ピョンチャン)冬季オリ  
ンピックへの北朝鮮選手団参加  
という平和の祭典に相応しい希

望の道を開いた。

そうしたトランプ大統領の  
数々の人権と平和を壊すような  
言動に対して、安倍首相の「付  
度」の酷さは世界中からの笑い  
ものとなっていると言っても過  
言ではない。国連本部で行われ  
た核兵器禁止条約を51カ国  
が署名して成立した時、日本政  
府は反対票を投じて世界から批  
判を浴びたし、トランプ大統領  
の来日時には「非常に重要な  
は、日本が膨大な兵器を追加で  
買うことだ」と言われ、米国の  
空軍ですら購入しないオスプレ  
イを実勢価格以上で買わされて  
いる上に、ミサイル防衛システ  
ム「イージス・アシオア(陸上  
配備型イージス)」や、現在航  
空自衛隊向けに42機の導入が決  
定している最新鋭ステルス戦闘  
機、F-35A「ライトニングII」  
の数千億円の追加発注を約束さ  
せられているのだ。

更に、共同記者会見ではトラ  
ンプ大統領の「戦術的忍耐の時  
代は終わった」との北朝鮮への  
挑発に迎合し、新たに35の個  
人・団体を資産凍結の対象とし  
る対北制裁を発表と、本来なら  
らば東アジアの緊張緩和、平和  
外交を促すべき立場にも拘らず  
トランプ大統領の背後で舌なめ  
ずりを行っている軍産複合体の戦  
争戦略に隷従する有様。  
こうした内外の厳しい状況下  
で、我々にとっての昨年は失業  
手当の不正受給に端を発した雇

用保険の適用の厳格化が打ち出  
され、各地本とも対応に追われ  
た1年であったと思う。労働者  
供給事業の唯一の例外である労  
働組合として60年もの長きにわ  
たり労働者供給事業にあたって  
きたが、ここに来て我々の独自  
性や特殊性を無視したかのよう  
な厚生労働省の傾向にはただ驚  
かされるばかりである。

実は、厚生労働省が作成し  
た今年1月1日から職安法の改  
正に伴う労供事業に関するリー  
フレットの中に「労働者との労  
働契約の変更に伴う労働条件の  
云々」との記載があり、我々の  
組合員が供給先と個人として労  
働契約を結んでいるかのような  
表現があり、厚生労働省の担当  
者と交渉をしたのだが、これま  
た納得いく回答を得ることはで  
きなかった。実は、昨年の雇用  
保険課から出されていた文書に  
も、我々の組合員は供給先事業  
所と雇用契約を結んでいて、労  
働組合は「作業主体ではない」と  
いう文言が入っていたことが  
明らかになり、まさに労働組合  
の労供事業の制度的危機に直面  
していると認識しているところ  
である。

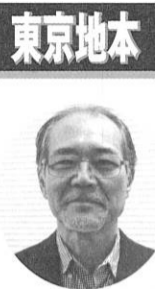
できずにいるばかりか、有効求  
人倍率も全国平均で1.56倍と  
高水準になって足元の人手不足  
が鮮明になってきている。特に  
我々が働く交通・運輸産業にお  
いてはこの人手不足の問題がよ  
り顕著に表れており、労働時間  
の短縮や残業等に頼らない賃金  
制度の確立を図っていないけれ  
ば、我々を取り巻く環境はより  
厳しいものとなり物流が止まっ  
てしまうことにもなりかねない。  
2018春季生活闘争では、連  
合全体として確認している「底  
上げ、底支え、格差是正、大手  
追従・大手準拠などの構造を転  
換する、そしてすべての労働者  
の立場に立った働き方実現」の  
継続という基本路線を踏まえた  
闘いになるが、我々新運転も労  
働条件・賃金の向上をもって魅  
力ある組合を目指し、組織の拡  
大発展に繋がっていくよう共に  
頑張っていくのではないかと。  
最後に昨年の第48回衆議院  
総選挙では、野党の予想外の展  
開もあり、自公政権に改憲に  
必要な議席を再び与えること  
になったことは非常に残念なこと  
である。

- 中央執行委員長**  
折井 洋之 (埼玉)
- 副執行委員長**  
白土 武裕 (関西)  
浦田 司 (東京)  
楠 真一郎 (滋賀)
- 書記長**  
太田 武二 (東京)
- 執行委員**  
田中 浩 (滋賀)  
鴨沢 城 (東京)  
黒須 明 (埼玉)  
辻居 康伸 (関西)
- 会計監査**  
岸本 仲志 (関西)  
宮田 政邦 (東京)
- 労供労連役員一覧**
- 会長**  
折井 洋之 (新運転中央委員長)
- 会長代行**  
根本 義弘 (自運労中央委員長)
- 副会長**  
松居順一郎 (自運労中央副委員長)  
白土 武裕 (新運転中央副委員長)
- 事務局長**  
桑嶋 正 (自運労東京書記長)
- 事務局次長**  
太田 武二 (新運転中央書記長)



# 新運転結成60周年(2019年)に向かって 改憲・働き方改悪・我々の労供事業廃止の動きを阻止しよう!

## 二〇一八年度 年頭所感



東京地本  
執行委員長 二 太田 武

まずは新運転の労供事業に従事している全国の組合員の仲間と新年の挨拶を送ります。今年の干支は、戌戌(つちのえいぬ)で60年に一度巡ってくる変化の年だとか、犬は多産・安産で生命力の豊かさをもたらすとて妊娠後の戌の日に帯をまき安産祈願する風習が残っているようです。

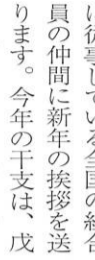
60年といえば、来年が新運転結成60周年という記念すべき年ですね。来年の話は鬼が笑うと言いますが、新運転が選歴を迎えるわけで、今年1年の頑張り如何で来年以降の泣き笑いが決まってくると思います。

私は、結成58年の昨年秋の大会で凶らずも初代の柏原実氏から9代目となる執行委員長に選任されました。私は新運転に加入した1980年から20年間、一般トラック、清掃生コン、首都高などの多様な職種に就労しながら生まれ島沖繩の反基地・自立解放の運動を軸に様々な平和人権闘争に参加してきました。その後14年間は、篠崎氏、北浦氏、宮田氏、草刈氏の各委員長の下で書記長を務めてきたのですが、この2年間は自由労働者として現場に戻り、中央本部の非専従書記長として活動させていただきました。

その過程で、一昨年の日望は混迷を深めている。そして、安倍政権が働き方改革法案の成立や憲法の改憲を目指す通常国会が開かれた。既に、所信表明演説に対する代表質問から予算委員会での本格論戦に入っている中で、嘗ての安保関連法案と同じ手法で成立を目論むであろうが、働き方改革が大企業の利益追求の為の改革では無く、働く者の視線に立った法案であるべきで野党の論戦と追及に期待を寄せたい。

最後に、連合・交運労協傘下の産別では春闘の方針決定から要求書提出、そして団体交渉に入っているが、大企業本位の政策に特化している訳で、日々の外部労働市場における民間需給調整役として我々が果たしてきた重要な役割を無視から廃止へ追い込もうとしているのです。

それだけに安倍政権の改憲策動を阻止する闘いと我々の労供事業を拡充する闘いを一つに結合していくことが、60周年を前にした今年の東京地本の最大の課題だと認識に立って全国の仲間と共に全力疾走することを誓って年頭所感とします。



関西地本  
執行委員長 白土 武裕

新年明けましておめでとうございます。昨年は日雇い雇用保険の運営と摘要を巡る混乱に終始した一年であった。株の世界では干支にちなんだ格言で申酉騒ぐ犬笑いといわれるようで、正に供給事業をおこなう労働組合は大なる激震に見舞われた気分だった。特に近畿地方の供給事業労組の組合員は白手帳を所持して就労しており、行政の運営に現場の組合員は混乱

に陥った。今年も継続して厚生労働省との協議を進め、60年に渡り労働組合がおこなってきた供給事業で供

給され使用される労働者の日雇い雇用保険の運営と適

用への理解を深める交渉に傾注し、昨年、安倍政権はモリカケ問題での支持率低下を

手に「国難突破解散」と主張し、野党共闘が混迷して

いる最中に不意打ち解散、議席を拡大した。野党は結果的に希望の党から排除された立憲民主党が野党第一党になったが、「民進」一

望は混迷を深めている。そして、安倍政権が働き方改革法案の成立や憲法の改憲を目指す通常国会が開かれた。既に、所信表明演説に対する代表質問から予算委員会での本格論戦に入っている中で、嘗ての安保関連法案と同じ手法で成立を目論むであろうが、働き方改革が大企業の利益追求の為の改革では無く、働く者の視線に立った法案であるべきで野党の論戦と追及に期待を寄せたい。

最後に、連合・交運労協傘下の産別では春闘の方針決定から要求書提出、そして団体交渉に入っているが、大企業本位の政策に特化している訳で、日々の外部労働市場における民間需給調整役として我々が果たしてきた重要な役割を無視から廃止へ追い込もうとしているのです。

それだけに安倍政権の改憲策動を阻止する闘いと我々の労供事業を拡充する闘いを一つに結合していくことが、60周年を前にした今年の東京地本の最大の課題だと認識に立って全国の仲間と共に全力疾走することを誓って年頭所感とします。



埼玉地本  
執行委員長 高橋 真一郎

明けましておめでとうございます。我々滋賀地本の地域では寒さは厳しいものの雪が積もる事なく、穏やかな新年を迎えることが出来ました。

が、全国各地では最強寒波襲来によって積雪も記録的で、地域の公共交通機関にも影響を及ぼすなど猛

我々の労供は天候により生活や仕事が左右されやすく各地本の皆様も、この時期は安全運転・作業に十分に気を付けて頂きたいと節に願っています。

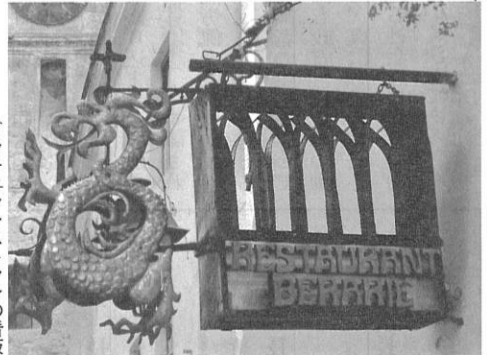
しかも、政府は労供事業を許可し認めつつも理解せず、昨年から厚生労働省の日雇い雇用保険への締め付けは到底理解出来ません。我々が労供事業を押し進める事によって、労使間の需給バランスを調整し、労働人口の減少に歯止めをかけて、生産性の向上に繋げて来たのです。よって行政に代わり需給調整を長年に亘り担ってきた我々を無視することは労働力の需給バランスを崩すことになると危惧するところです。

話は変わりますが、滋賀県東部市にインスタントラーメンを製造する大規模な製粉工場があるのですが、今年で60年の節目を迎えるよう

刻々と変化する時代に対応し、半世紀以上継続し続けている事は偏に凄いと云えます。申し入れに対応するもの、人手不足は解消出来ず困難を極めています。ましてや労働条件・労働賃金の見直しをするにも、人員確保・新人育成を含む諸問題を解消する事が急務です。更に数年前から進めている建築・電装等の技術職も一定の成果が出始めており、協約締結に近づきつつあります。運転業務が苦手な人材に関しては、技術職に就き組織力を高めて行く方向で進めています。昨年、少数ではありましたが、新たに仲間が増え、供給にも幅は出ましたが、未だ潤沢な供給は難しく、関西地本の協力は厳しく、関西地本の協力なしでは成り立たない現状です。日々協力して頂いている関西地本には感謝ばかりです。滋賀地本は、未だ組織力も低く、歴史も浅い

## 隠居の海外旅行 薔薇は香水の原料

河合 明博 (元新産別委員長)



ルーマニアの紙幣(と云えるか?)は紙ではなく紙様のプラスチックで出来ていて珍しい言葉もルーマニア語にブルガリア語、文字も違う。ブルガリアはキリル文字。ローマ字化と併記も進んでいるが読むのに苦労する。

近代的なスーパー・マーケットも有るが、かなり庶民的なマーケットも有った。ローマ帝国に発し、ラテン系民族という。ブルガリアは、土着のトラキア人が起源。以後、両国とも、ローマ帝国、ハプスブルク家、オスマン・トルコ、ロシアの支配・侵略を受け、様々な歴史をたどるが、第二次世界大戦の後、今日の姿に近づいたようだ。また、共に社会主義を経て、現在は民主主義国。

△西国の違い  
隣国でありながら、民族も、文化も違う。勿論、長い歴史の中で混血も進んでいるので、それぞれ純粋とは言えないだろうが、EUに加盟しているが、両国ともユーロは導入されていない。従って、通貨単位も違い、短期間の旅行者にとっては甚だ不便である。

△断交  
帰国の前日、アルジャジーラの放送を見ていたら、サウジ・アラビアなど湾岸四カ国がカタールと断交した、というニュースが流れ、冷や汗をかいた。訪問二カ国と関係ないが、実は、往復がカタール航空という事情があった。結果的に影響はなかったが、今の世界何があるか分からない、と実感した旅だった。



関西地本  
執行委員長 白土 武裕

新年明けましておめでとうございます。昨年は日雇い雇用保険の運営と摘要を巡る混乱に終始した一年であった。株の世界では干支にちなんだ格言で申酉騒ぐ犬笑いといわれるようで、正に供給事業をおこなう労働組合は大なる激震に見舞われた気分だった。特に近畿地方の供給事業労組の組合員は白手帳を所持して就労しており、行政の運営に現場の組合員は混乱

に陥った。今年も継続して厚生労働省との協議を進め、60年に渡り労働組合がおこなってきた供給事業で供

給され使用される労働者の日雇い雇用保険の運営と適

用への理解を深める交渉に傾注し、昨年、安倍政権はモリカケ問題での支持率低下を

手に「国難突破解散」と主張し、野党共闘が混迷して

いる最中に不意打ち解散、議席を拡大した。野党は結果的に希望の党から排除された立憲民主党が野党第一党になったが、「民進」一

望は混迷を深めている。そして、安倍政権が働き方改革法案の成立や憲法の改憲を目指す通常国会が開かれた。既に、所信表明演説に対する代表質問から予算委員会での本格論戦に入っている中で、嘗ての安保関連法案と同じ手法で成立を目論むであろうが、働き方改革が大企業の利益追求の為の改革では無く、働く者の視線に立った法案であるべきで野党の論戦と追及に期待を寄せたい。

最後に、連合・交運労協傘下の産別では春闘の方針決定から要求書提出、そして団体交渉に入っているが、大企業本位の政策に特化している訳で、日々の外部労働市場における民間需給調整役として我々が果たしてきた重要な役割を無視から廃止へ追い込もうとしているのです。

それだけに安倍政権の改憲策動を阻止する闘いと我々の労供事業を拡充する闘いを一つに結合していくことが、60周年を前にした今年の東京地本の最大の課題だと認識に立って全国の仲間と共に全力疾走することを誓って年頭所感とします。

**関西地本**  
〒536-0016  
大阪府大阪市  
城東区蒲生1-8-11  
TEL 06-6931-5251  
FAX 06-6931-5257

**滋賀地本**  
〒525-005  
滋賀県草津市  
木川町字神保 848-1  
TEL 077-567-5564  
FAX 077-567-5562

(二〇一七年五月二十九日)六月七日 阪急トラピックス (完)